

わがまちの雨水対策

桑名市は市街地の大半が海拔ゼロメートル地帯であるため、自然排水が困難なことから、浸水被害の防止に向け分流式下水道*1による雨水管渠整備と雨水ポンプ場の建設を進めています。尚、下水道課では、概ね8年に1度発生する恐れ(時間降水量62mm以上)がある豪雨に対して整備し

*1 分流式と合流式

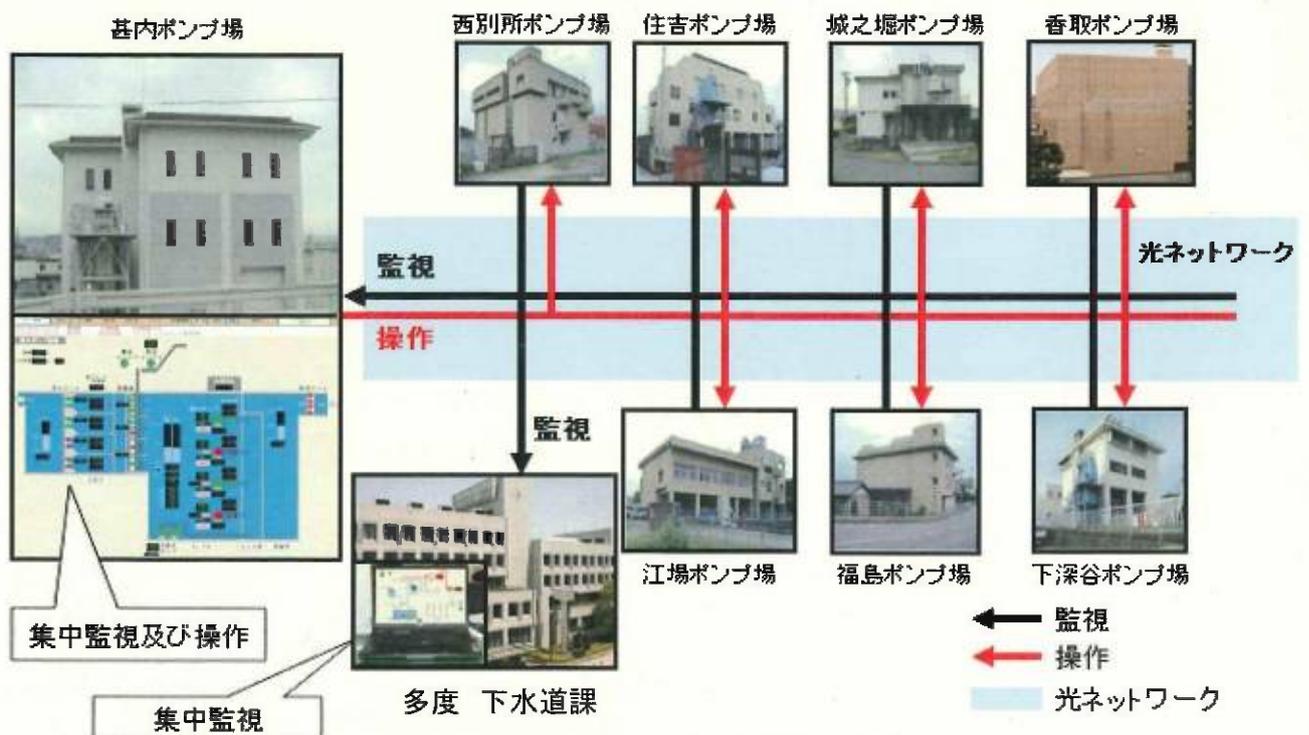
下水を運ぶ方法としては、汚水と雨水を別々の管で流す『分流式下水道』と同じ管で流す『合流式下水道』の2つの方法があります。

○雨水ポンプ場自動化・集中監視システムの導入

降雨の状況に応じた的確な雨水排水を行うため、8箇所のポンプ場を対象として、平成21、22年度に光ネットワークを用いた集中監視システムを導入します。(下図参照)これは、多度総合支所の下水道課並びに基内ポンプ場で集中監視を行うとともに、平常時には基内ポンプ場において一括操作を行うものです。このことにより、浸水被害に対する安全度の向上と晴天時の無人化体制による効率的な運営を行うことができるようになります。

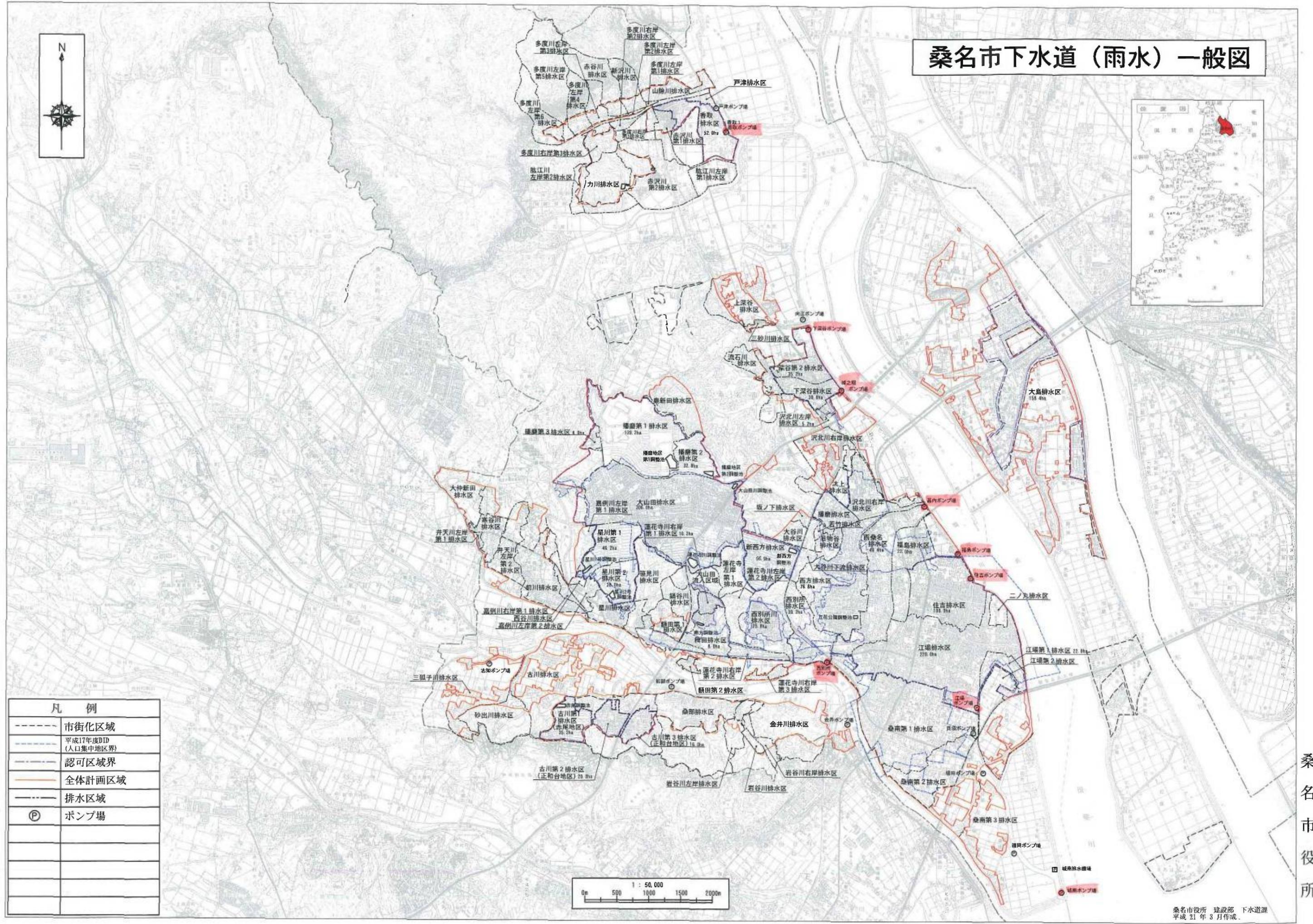


現在の監視システム、操作盤
(基内ポンプ場)

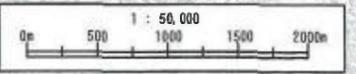


遠方監視システム概略図

桑名市下水道（雨水）一般図



凡 例	
-----	市街化区域
-----	平成17年度DD (人口集中地区界)
-----	認可区域界
-----	全体計画区域
-----	排水区域
Ⓟ	ポンプ場



桑名市役所